第3回 臨時会

令和元年10月28日、第3回臨時会を開催しました。

市長の市政報告および議長報告の後、議長選挙、副議長選挙が行われました。その後、常任委員および議会運営委員が選任および広島県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われました。

続いて9月定例会において決算特別委員会に付託した平成30年度一般会計・特別会計・企業会計の決算を賛成多数で認定し閉会しました。

議長選挙

林久光議長の辞任に伴う選挙の結果、吉野伸康議員が議長に選任されました。

吉野　伸康　議員

副議長選挙

山本秀男副議長の辞任に伴う選挙の結果、登地靖徳議員が副議長に選任されました。

登地　靖徳　議員

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

議長の指名推薦により、酒永光志議員が選出されました。

酒永　光志　議員

新委員の構成

次のとおり、10月28日付で各委員会委員に一部異動がありました。

【総務常任委員会】
委員長　浜西金満
副委員長　岡野数正
委　員　林　久光
委　員　花野伸二
委　員　熊倉正造
委　員　角増正裕

【文教厚生常任委員会】
委員長　酒永光志
副委員長　胡子雅信
委　員　吉野伸康
委　員　上松英邦
委　員　平川博之
委　員　長坂実子

【産業建設常任委員会】
委員長　山本秀男
副委員長　上本一男
委　員　山本一也
委　員　登地靖徳
委　員　沖元大洋
委　員　重長英司

【議会運営委員会】
委員長　山本秀男
副委員長　浜西金満
委　員　胡子雅信
委　員　上本一男
委　員　酒永光志
委　員　岡野数正

「○」は賛成　「●」は反対　「欠」は欠席

第３回（10月）臨時会　賛否表

議案＼議員名	番号		1 長坂実子	2 角増正裕	3 重長英司	4 岡野数正	5 熊倉正造	6 平川博之	7 酒永光志	8 上本一男	9 花野伸二	10 沖元大洋	11 上松英邦	12 山本秀男	13 胡子雅信	14 林久光	15 登地靖徳	16 浜西金満	17 山本一也
	結果	表決数																	
平成30年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市港湾管理特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市交通船事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市下水道事業会計決算の認定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成30年度 12会計の決算認定

平成30年度の一般会計をはじめとする12会計の決算認定議案は、９月定例会において決算審査特別委員会に付託されました。

同委員会では、常任委員会所管ごとの３分科会に分割し、９月19日、20日に産業建設分科会、９月24日、25日に文教厚生分科会、９月26日、27日に総務分科会を開会し、慎重に審査した結果、賛成多数で可決および認定しました。

次の点については、今後さらに検討を加え、是正すべきであると考えるので、分科会別に個別意見および要望事項としました。

▲決算審査の様子

付帯意見（一部）

総務分科会

●平成30年度決算は、積立金を取り崩した結果、実質収支は黒字となったが、実質単年度収支は平成29年度決算につづき２年連続でマイナス決算となった。経常収支比率は96・６％に上昇し、財政の硬直化はますます進んでおり、経常収支比率の改善は喫緊の課題であることを認識するとともに、標準財政規模を勘案し、過大の投資は避け、投資的経費の抑制と一般財源の縮減に努め、全庁一丸となり健全な財政運営に努められたい。

●過去の決算審査特別委員会の報告書で、今後さらに検討を加え、是正すべきとして分科会別に個別意見（要望事項）を付しているが、検討結果や是正事項等、その後の対処状況を文書で示されたい。また、分科会で委員から指摘や要望、質問のあった事項についても真摯な対応を望む。

●当初予算時に新規事業および拡充事業として掲げ、事業費や計画を示したものは、その実施内容や成果、今後の課題とともに事業継続の可否を主要施策の成果に関する報告書に示すこと。また、市役所内部で活用している事務事業評価シートを決算審査の資料として決算審査特別委員会に配付されたい。なお、事務事業評価に当たっては、明確な基準を設け職員研修に努めること。

文教厚生分科会

●ごみステーションは複数の住民が利用する場所であるため、ゴミ出しルールの徹底や不法投棄防止のために出前講座や広報誌、防災無線による啓発を積極的に行い、環境美化に努められたい。また、水位や風向きによって河川に入り込んだ漂着ゴミは、景観を損ねるだけでなく再び海へ流出するため、海岸漂着ゴミと合わせた回収等取り組みを強化されたい。

●子育て支援については、関連する部署が情報を共有し、助産師の配置など妊娠期から子育て期まで連携した支援体制とするとともに、妊娠出産期においては、マンツーマンでの支援相談体制を構築されたい。また、児童・生徒の虐待対策についても、保育施設から高等学校までの連携により、予防、早期発見に努めるほか、虐待を受けた児童・生徒のケアを行うよう努められたい。

●大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）のリニューアル整備事業について、候補地選定には新築か既存建物の再利用かの比較検討を行うとともに、検討段階から十分な情報を議会に提供し、観光・交流機能を持つ特色ある教育施設として整備計画を進められたい。

産業建設分科会

●平成30年７月豪雨に伴う災害対策工事については、職員が、日常の業務に加え、他市からの派遣職員の応援により土木関係および産業部関係で約７００件執行し、迅速に対応したことに敬意を表するものである。しかし、復旧工事や二次被害の防止対策等により安全・安心な生活を取り戻すには、なお時間を要することから、職員においては引き続き健康に留意し、緊急度に応じた対策を計画的に実施されたい。

●イノシシ１１０番は、被害に対する相談窓口として有効活用されているが、捕獲後の埋設支援機材（マイクロショベル）の利用が十分なされていない。捕獲者にとっては、捕獲後の埋設作業が大きな負担であり、労力軽減には有効な機材であることから、さらなる活用の促進をはかられたい。

●平成30年７月豪雨により住宅が被災した住民等に対して、市営住宅の無償提供や市独自で行った被災住宅の修繕費補助等は早期生活再建につながり評価できる。

また、市営住宅は、老朽化が進んでおり安全性の確保が求められることから、大規模修繕を計画的に進める中、バリアフリー化を促進し、質の高い住宅の整備をはかられたい。